

日本人メキシコ移住１２０周年記念式典 安倍内閣総理大臣祝辞

この度、メキシコのチアパス州において、「日本人メキシコ移住１２０周年記念式典」が盛大に開催されるに際し、日本国政府及び日本国民を代表して心よりお祝いを申し上げます。

今日めざましく発展している日墨関係を振り返ると、１２０年前にメキシコの地に移住された方々の足跡の歴史的意義と、その後の計り知れない御苦勞が改めて思い起こされます。移住者の皆様の御苦勞と御努力に対し、改めて深甚なる敬意を表します。

私は、２０１４年に日本の総理大臣として１０年ぶりにメキシコを訪問し、メキシコ市の日墨会館において、各界でご活躍されている日系人の皆様とお会いしました。いたるところで大活躍される皆様とお会いすると、現地の社会から大きな信頼と尊敬を集める日系人の方々がいてくださるからこそ、日本とメキシコが、「Juntos（フントス）」でやっていけるということを改めて痛感します。

本日お集まりの皆様方におかれても、１２０年前の先人と同様に、それぞれの分野で大変な御努力をされ、御活躍されていることと思います。今後、皆様との絆を一層強化し、御支援、御協力を頂きながら、日メキシコ関係を、大きく発展させていきたいと思っています。

最後になりましたが、皆様のますますの御成功と御繁栄を、心よりお祈りし、私の祝辞とさせていただきます。

平成２９年５月

内閣総理大臣

安倍晋三

日本人メキシコ移住１２０周年記念式典 岸田外務大臣祝辞

本年は、日本・メキシコ移住１２０周年という記念すべき年に当たります。本日の日本人移住１２０周年記念式典の盛大な開催を心よりお祝い申し上げます。

メキシコに１８９７年に榎本殖民団が入植してから今年で１２０年を迎えますが、その間、日系人の皆様方はこのメキシコの地での成功のために大変なご苦勞をされ、メキシコの発展のために、多くの苦難を乗り越えられながら、多大なる貢獻をされてこられました。まさに、皆様がこの地で築かれた揺るぎない信賴の上に、今日の日墨關係が築かれているといっても過言ではありません。

そのメキシコと日本は４００周年を超える交流の歴史を背景に、今や太平洋を挟む戦略的グローバルパートナーとして、政治、經濟、文化等あらゆる面で關係を深めています。また、メキシコをはじめとする中南米地域は、日本外交にとり、基本的価値觀を共有し、高い經濟的潜在力を持ち、大変親日的である点で、極めて重要であります。そして、２１０万人超の世界最大の日系社会こそがこの親日感情の礎となっていると確信します。

今日、メキシコの日系社会は、一世から二世、三世へと世代交代が進み、その活動も変化してきています。最近では、山田駐墨大使のイニシアティブの下、若い世代の皆様との交流も進められていると聞いています。日本は若手の皆様も含め、これからより一層、日系社会との連帶を強くしていきたいと考えています。私は、こうした思いから、今年の３月、中南米日系社会との連携に関する有識者懇談会を立ち上げました。各方面の専門家とともに４回の会合を経て、提言をいただいたところであります。これを踏まえ、将来に亘って、日系社会との絆を更に発展させていくことをお約束したいと思います。

近年、日墨關係が重要性を増す中で、両国關係を支える貴重な役割を果たされている日系人の皆様の存在もまた、ますます重みを増しています。今般、移住１２０周年をお祝いするに当たり、日系人の方々に対し深甚なる敬意を表するとともに、今後とも両国の架け橋として日墨關係の更なる発展に向け御支援を頂きたく、ここにお願い申し上げます。

最後に、日系人の皆様方のますますの御健康と御繁栄、そして我が国とメキシコ合衆国の一層の關係増進を心より祈念いたします。

平成２９年５月

外務大臣

岸田文雄

日本人メキシコ移住120周年記念式典 中曽根弘文日墨友好議員連盟会長祝辞

日本・メキシコ移住120周年に当たり、心よりお祝い申し上げます。

私は、13年3月の日本・メキシコ友好議員連盟会長就任以来、これまでに計5回メキシコを訪問しましたが、中でも印象に残っているのは、14年5月にマサトランで開催された、全国メキシコ日系人大会への出席でありました。約500名の日系の皆様が一堂に会したこの大会で、メキシコの日系社会の結束力と熱いパワーに圧倒されたものです。

そして今年は、1897年の榎本移民団が入植してから120周年を迎えます。一世紀を超える歴史の中で多くの日本人移住者がメキシコに根を下ろされ、国内各地で、教育、医療、産業の発展に寄与されて来られたことに改めて敬意を表します。こうした先達の御尽力の上に、現在の日本とメキシコとの友好関係が築かれているといっても過言ではありません。

近年では、両国の関係は、政治、経済のみならず、科学技術、文化、学術等の幅広い分野で緊密化しています。経済関係は、発効して10年が経つ日墨経済連携協定（EPA）を基礎に大いに発展し、今や、メキシコにおける進出日本企業は、自動車関係を中心に、1,000社以上に上り、在留邦人も1万人以上おられます。昨年1月にレオンに総領事館が開館されたことは、両国の伝統的友好関係に新たな1ページを開く象徴的な出来事であったといえるでしょう。

このように発展著しい日墨関係ですが、そこには常に移住者の方々の御尽力があったと承知しています。私も、両国の友好関係推進に向けた日系の皆様の熱い思いに負けぬよう、日墨友好議員連盟の会長として、一層努力してまいりたいと思います。

2020年には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。この機会に、どうか皆様には、日本をご訪問いただき、今の日本、新しい日本を知っていただきたいと思います。

最後になりますが、日系の皆様に対して心より敬意を表するとともに、皆様のますますの御健康と御繁栄、そして我が国とメキシコ合衆国の一層の関係増進を重ねて祈念いたします。

平成29年5月
日墨友好議員連盟会長
中曽根弘文